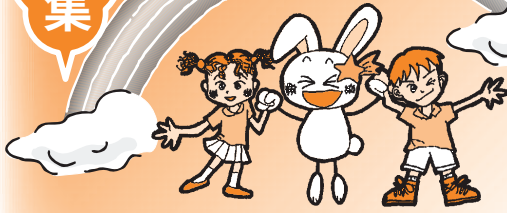


特集

ここから始めよう Here We Go !



たちかわ市民交流大学 5周年イベントから

去る11月17日、女性総合センター・アイムにおいて、市民交流大学5周年イベントが開催されました。延べ約1,300人の方のご来場、ありがとうございました。今号の特集では当日の様子とともに、裏方として活躍された市民のみなさんを中心に取り上げたいと思います。

パネルディスカッション 市民力で創る生涯学習

コーディネーターに福留 強さん（聖徳大学生涯学習研究所所長）を迎え、パネラーの皆さんから生涯学習活動に関わるようになった経過や日頃の想いを伺い、これからの市民交流大学について考えました。

内野和歌菜さん（子育て世代）

学んだことを生かせるようにしていくことが、大事ですね。「市民交流大学」を愛称で呼ぶなどしてみなさんに愛着を持っていただき、気楽な参加で「交流」を深められたらいいな。

武江俊江さん（女性団体）

家事と子育てに埋もれていた私がひとつの講座をきっかけに変身。仲間を得て社会を生きる力を学びました。先輩たちの熱い思いを次の世代に伝えたい。いろんな場への参加で輪の広がりを感じる、それが楽しい。

山田香代さん（地域学習館運営協議会）

西砂学習館では3つの柱（中高校生・乳幼児のママ・年配の方）を応援する企画を始めて3年目、やっと根付き始めました。世代を超えた楽しい「たまり場」にしたい。市民交流大学は「知名度アップ」が課題でしょう。

榭間好男さん（生涯学習市民リーダーの会）

講師を担当して多くの方と出会い、勉強を深める喜びを味わっている。今後の市民交流大学は、多忙な現役世代も関われるようにし、その場限りでない交流を考え、地域の連帯を生み出してほしい。市民の人材も活用を。



高橋 貞さん（市民推進委員会）

市民主体の学習活動は行政の支援もポイント。学んだ人のつながり・交流で市民力を広げていきたい。私たちは今後も多くの団体や地域の人材との連携を深め、市民ニーズを踏まえた講座を創っていきたい。

<会場からの意見>

- * 地域の貴重な文化を発掘・伝承していきたい。
- * 知名度アップには行政を頼らず自分たちで売り込む努力を。
- * 「さりり」はもっとシンプルな講座情報に絞り、だれもが読みやすい紙面にしてほしい。
- * 世代間の交流をもっと深めるべきだ。

福留コーディネーターより

生涯学習は●自分を高め●生活を豊かにする。しかし日本では後者がまだ弱い。活気あふれる立川市の市民交流大学に皆さんの熱意を感じる。思いきりユニークな発想が熱い連帯を生んだ自治体の例もある。宣伝力は口コミに勝るものはない。課題を胸にとめ、今日から新たなスタートを切ろう。世代を超えた連帯を作り出し、学びから立川の暮らしを豊かにしていこう。今日は皆さんが勇気を出してラインを踏み越えてくださったことに感謝したい。



このイベントを創るために、平成 24年 1月から準備委員会、次いで実行委員会が発足。生涯学習に携わる団体の市民を中心に職員も交え、日程やキャッチフレーズ、催しの調整など何度も熱いディスカッションを重ねてきました。

生涯学習には市民の力が不可欠！講演会を聴く市民、講座を受講する市民、企画運営する市民、出演する市民、たくさんの市民の力で、これからも立川の生涯学習を盛り立てていけるといいですね♪



和太鼓演奏「絆-kizuna-」の皆さん

市民交流大学で講座を開き、初めて市民の方々に太鼓を教えました。「教える」ことが私たち自身にとって、すごく勉強になりました。子どもから年配の方まで地域の皆さんと知り合えたことも、貴重な経験です。（絆メンバー）

活動パネル展示の数々



「あなたにとって、いまが出发点」



志茂田景樹さんの講演会

立川文学賞の選考委員長など、立川にゆかりのある志茂田さん。天候が良くないこの日に合わせたという鮮やかな装い。「見栄や欺瞞をはがし、自分をさらけ出して生きる」という精神でファッションを変えたのは、50代手前から。嫌な扱いをされたこともあったが、10年続けたら周囲が受け入れるようになった。「何かを始めるというとき、今からじゃ遅すぎるということは絶対にありません。無意識に自分で引いていた心のラインを踏み越え、やりたいと思っていたことを今から始めてください。10年続ければ本物になる。年齢に関係なく、夢をもつ。」言い切る姿がかっこいい。絵本「ぞうのこどもがみたゆめ」の読み聞かせも、全身の表現で圧巻。“生涯学ぶ”を実践されている志茂田さんの話に引き込まれた、あっという間の1時間でした。（加藤倫）

講座

「世界・日本のジオパークを楽しもう」



みなさんが景観を求めて出かける行楽地はこのジオパーク（地理の公園）であることが多い。富士山のように地震や火山噴火等の災害を伴う地球の歴史的変動の後、美しい景観に変わった地形が多く、各地にその変動の証が残っている。ジオパークを訪れて、楽しみながら地球の歴史や日本列島誕生について振り返ってみては、との思いで企画しました。（白岩）

「パパによるおはなし会」

「イクメン講座」で読み聞かせを学んだ現役パパたちが大活躍！パパ自らが選んだ本をおもしろやさしく読むと、集まった子どもたちはニッコニコ☆

これからの「イクメン講座」にも、ぜひご注目を！





5周年イメージキャラクター

きらりんの作者

内野和歌菜さん

「たちかわ市民交流大学」というまだまだ馴染みのないものに、もっと市民の方々に親しみをもっといただきたく、「きらりん」は誕生しました。簡単に描けるのはもちろん、なぜ「うさぎ」なのか…？そのジャンプ力で飛躍する、大きな耳でよく聴き、あえて手をつけたのは、学んだものを掴み取るという意味がこめられています。この親しみやすい「きらりん」はたちかわ市民交流大学そのものです。そんな気軽な気持ちで気になる講座を受けてみてくださいね。

Wakana.u.



「親子で楽しく手話入門」

立川市聴覚障害者協会
女性部のみなさんほか

講座では初め緊張していた子どもたちも、トトロの歌「さんぽ」を手話で歌えるまでにまりました。

前日は女性部の方がバルーンアートを手ほどきくださり、色とりどりの風船飾りをスタッフで沢山作りました。



「笛の教室」

門真豊山さんと新尺八の会のみなさん

「オカリナアンサンブル演奏」

片岡みゆきさんと「風」のみなさん



心躍る市民リーダー パフォーマンス



「わらべうたあそび」

矢船けい子さん

「みんなで歌おうコンサート」

中村 聡さん、藤波結花さん
立川混声合唱団のみなさん
中村 美香さん

素晴らしい歌と演奏で心を癒し、会場全体での輪唱を楽しんでいただこうとの想いで企画しました。(國井)

ポップコーンや
ぬり絵コーナーも



「南京玉すだれ」
篠原美津子さんと「南京玉すだれアーチストの会」のみなさん



5年間を振り返って

振り返ると私は平成12年、最後の「公民館運営審議会」に仲間入りしました。その頃、経済的な影響で全国的に「指定管理者制度」の導入が進みましたが、立川市は民間委託には慎重でした。「市民懇談会」を立ち上げ、生涯学習のあるべき姿を2年かけて議論しました。そして「生涯学習を市民の力で進める」ため、メンバーが結集し、大学教授の研修を受けるなどして準備。いよいよ平成19年、市と協働で「たちかわ市民交流大学」を開講することができ、手探りしながら講座の企画を始めました。同時に公民館は、より市民の手で運営するため「地域学習館」に変わりましたが、引き続き無料で使用できることに利用者は安堵したのです。

今日までにたくさんの仲間や講師の方との出会いがあり、成長させていただきました。イベント前日、活動パネルに過去の講座チラシを貼りながら、印象に残る講座の数々が走馬灯のように蘇りました。5年を経た今、堂々と走り出したことに嬉しさと感謝の気持ちを噛みしめています。今後は若い方々にもっと参加いただき、皆で知識や経験を分かち合い、「生涯学習から始まるまちづくり」を進めていけたらと願っております。(國井)